

三重県アセアンビジネスサポートデスク現地レポート

平成26年8月19日

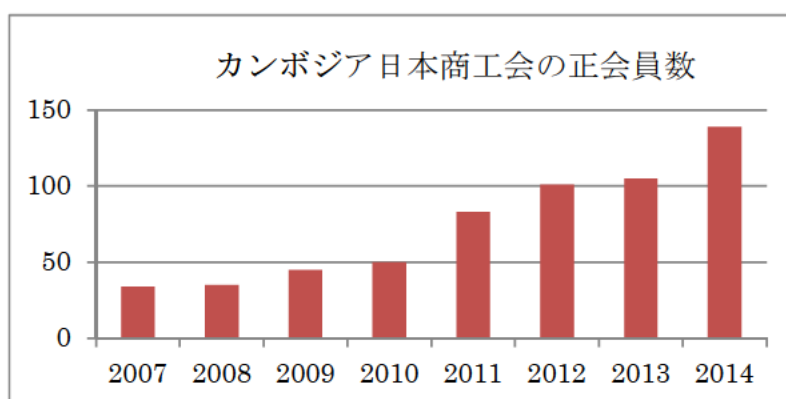
三重県アセアンビジネスサポートデスク

株式会社野村総合研究所（NRI）

カンボジアの概況

カンボジアは、タイ、ベトナム、ラオスと国境を接し、人口約1500万人の国です。アジアのデトロイトと言われるタイと、現在、経済発展が著しいベトナムの間にあり、企業からの問合せも増えつつあるので、今回は、カンボジアの概況について整理します。

カンボジアは、世界遺産であるアンコールワットに観光されたことがある方も多いかも知れませんが、「ポルポト」や「地雷」などのイメージが強く、「危ない国」という印象を持たれている方も多いのではないかと思います。しかし、近年は、政治も安定しており、他のアセアン諸国と比較すると英語が通じる方も多く（高等教育では英語による授業が多い、など）、実際に行かされると、イメージは変わるのではないかと思います。日本企業も、カンボジアでビジネス展開も積極的になってきています。例えば、カンボジア日本人商工会の会員数は、タイやベトナムと比較するとまだ少なく139社ですが（バンコク日本人商工会議所は1552社、ベトナム日本人会570社）、近年、急激に増加してきています。



出所) カンボジア日本商工会のホームページを参考に作成

カンボジアでビジネスをする際の特徴としては、規制が少ない、経済特区が多く設置、人件費が安い、地理的な立地条件などがあげられると思います。

「規制が少ない」とは、多くのアセアン諸国では、業種別の外資参入規制や、資金移動の規制などがありますが、カンボジアは規制緩和が進んでおり、規制が少

ないのが特徴であるといえます。

「経済特区が多く設置」とは、カンボジアでは工業団地のことを経済特区(Special Economic Zone ; SEZ)と呼ばれています。現在、JETRO 資料によると 32 カ所の経済特区が指定されています。経済特区へ投資する際の優遇措置は、関税や付加価値の免税・減免や、外国人としての非差別的取り扱い、非国有化、自由価格の保証等が与えられます。「人件費が安い」は、例えばプノンペンの工場ワーカーの平均賃金は約 100 米ドル/月です。隣国のベトナムでは 150-170 米ドル/月(ホーチミンが約 170 米ドル/月、ハノイで 150 米ドル/月)、タイのバンコク周辺では 400 米ドル/月近くに比較すると、かなり安いといえます。

一方、市場は大きいとはいえない、関連産業がほとんどない、インフラ整備が十分でない、などの課題も多くあります。

カンボジアについては、未知の方も多いと思われませんが、皆さまのビジネスの実態に合わせて、事業展開の検討を行っていただければ幸いです。カンボジアを含めて、アセアン諸国への事業展開についてのご相談は、三重県アセアンビジネスサポートデスクにお問い合わせいただければ幸いです。

<参考資料>

- ・ JETRO のカンボジアにおけるビジネス関連情報
<http://www.jetro.go.jp/world/asia/kh/>
- ・ JBIC のカンボジアの投資環境(2013 年 4 月)
http://www.jbic.go.jp/wp-content/uploads/inv-report_ja/2013/04/2985/jbic_RIJ_2013001.pdf
- ・ カンボジア日本人商工会
<http://www.jbac.info/>
- ・ カンボジア政府のカンボジア開発評議会・カンボジア投資委員会・カンボジア経済特別区委員会による経済特区関連情報(日本語)
<http://www.cambodiainvestment.gov.kh/ja/legal-frame-for-the-special-economic-zone-sez-scheme.html>